

研究成果の刊行に関する一覧表 H18 年度

雑誌

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高橋孝喜、稲葉頌一、半田 誠、坂本久浩、比留間潔、河原和夫、松崎道男、窪田良次、程原佳子、今中雄一、大塚節子、紀野修一、高松純樹、佐川公矯	平成 16 年度輸血関連総括アンケート調査報告—輸血部門の管理体制および輸血療法委員会に関する調査—	日本輸血学会雑誌	52 巻 3 号	414 — 421	2006
高橋孝喜、稲葉頌一、半田 誠、坂本久浩、比留間潔、河原和夫、松崎道男、窪田良次、程原佳子、今中雄一、大塚節子、紀野修一、高松純樹、佐川公矯	平成 17 年度輸血関連総括アンケート調査報告—輸血部門の管理体制および輸血療法委員会に関する調査—	日本輸血・細胞治療学会雑誌	53 巻 3 号	印刷中	
Okamura Y, Fujie T, Maruyama H, Handa M, Ikeda Y, Takeoka S	Prolongation effects of hemostatic ability of polyethylene glycol-modified polymerized albumin particles carrying fibrinogen gamma-chain dodecapeptide.	Transfusion		印刷中	
Okamura Y, Handa M, Suzuki H, Ikeda Y, Takeoka S	New strategy of platelet substitutes for enhancing platelet aggregation at high shear rates: cooperative effects of a mixed system of fibrinogen gamma-chain dodecapeptide- or glycoprotein Ibalpha-conjugated latex beads under flow conditions.	J Artif Organs	9 巻 4 号	251 — 258	2006
Okamura Y, Takeoka S, Teramura Y, Maruyama H, Tsuchida E, Handa M, Ikeda Y	Hemostatic effects of fibrinogen gamma-chain dodecapeptide-conjugated polymerized albumin particles in vitro and in vivo.	Transfusion	45	1221- 1228	2005
Okamura Y, Maekawa I, Teramura Y, Maruyama H, Handa M, Ikeda Y, Takeoka S	Hemostatic effects of phospholipid vesicles carrying fibrinogen gamma chain dodecapeptide in vitro and in vivo.	Bioconjug Chem	16	1589- 1596	2005
加藤栄史、半田誠、高本滋	造血器疾患における血小板輸血の現状と問題点—アンケート調査結果より—	臨床血液	47 (12)	1514- 1520	2006
半田誠	輸血の現状と課題、内科系疾患の輸血療法	医学のあゆみ	218 (6)	579- 584	2006
半田誠	輸血管理料と血液製剤の適正使用、注目の領域.	医学のあゆみ	219 (10)	801- 806	2006

半田誠	輸血医療の進歩と課題、適正な成分輸血： 血小板製剤.	日本内科学会 雑誌	93 (7)	1308- 1314	2004
石田明、上村知恵、橋詰賢一、 饗庭了、加藤木利行、四津良平、 半田誠	血小板輸血後に敗血症性ショックを呈し、 Morganella Morganii 菌による輸血後感染 症が強く示唆された一例.	日本輸血学会 雑誌	50巻 5号	726- 729	2004
半田誠	血液新法と輸血医療の今後.	臨床検査	48巻 10号	1075- 1076	2004
半田誠	内科領域の輸血療法.	臨床医	30巻 10号	1853- 1856	2004
比留間潔	輸血の管理体制.	Medical Technology	34	1108- 1115	2006
栗原和子、堺夕美子、平川道子、 渡邊美千子、江頭弘一、佐川公矯	自己血採血患者への支援システム--クリニ カルパスとオリエンテーションビデオを 使用して--.	自己血輸血	17 (1)	48-54	2004
東谷孝徳、川野洋之、江頭弘一、 佐川公矯	自己血採血患者の血液学的検討。	自己血輸血	17 (1)	89-94	2004
佐川公矯	輸血後感染対策の現状と課題。	臨床病理レビ ュー特集	129	25-30	2004
佐川公矯、東谷孝徳	輸血に伴う副作用の対策。	薬局	55 (7)	2189- 2198	2004
佐川公矯、東谷孝徳	輸血過誤の現状と対策。	日本内科学会 雑誌	93 (7)	1382- 1391	2004
佐川公矯	輸血に関するガイドライン。	日本外科学会 雑誌	106 (1)	7-12	2005
釘嶋美穂、池田かおり、岡村禎子、 松下時子、村田きよみ、平川道子、 渡邊美千子、川野洋之、佐川公矯	貯血式自己血採血クリニカルパスを改訂 し、患者の安全・安楽を図る。	自己血輸血	18 (1)	96-99	2005
和田裕子、古賀亮子、堺夕美子、 村田きよみ、平川道子、渡邊美千子、 佐川公矯	貯血式自己血輸血採血のオリエンテーシ ョンの改善。	自己血輸血	18 (1)	100- 105	2005
佐川公矯	エリスロポエチン	Medical Technology	33 (7)	722- 723	2005
佐川公矯	自己血輸血ガイドライン改訂3版(案)の 改訂点。	自己血輸血	18 (2)	158- 163	2005
佐川公矯	輸血用血液製剤の適正使用の普及—医師 に協力してもらうための提言。	Medical Technology	34 (11)	1149- 1152	2006
佐川公矯	自己血輸血における最近の常識——安全 で適正な自己血輸血のさらなる普及のた めに。	外科	69 (3)	260- 267	2007

紀野修一	輸血療法委員会と輸血部門のあり方－現状と課題－.	医学のあゆみ	218	571- 577	2006
葛西眞一, 紀野修一	術前・術後に必要な処置 輸血.	消化器外科	29	431- 436	2006
青木貴徳、紀野修一、山崎弘貴、小原充裕、葛西眞一、山崎浩、伊藤亮	単純性肝嚢胞の1例: Em18-WBによる鑑別診断の有用性.	日本消化器病学会誌	103	955- 960	2006
湯本浩史、内林佐知子、山下朋子、茂籠弘子、程原佳子、岡部英俊	コンピュータクロスマッチの導入効果－交差適合試験で抗グロブリン法を省略した利点とリスクの検討－	日本輸血細胞治療学会誌	52 卷 6 号	669- 677	2006

書籍

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
佐川公矯	将来のガイドラインへの考察。	高折益彦編著新自己血輸血 (改訂第3版)、克誠堂出版、東京		250- 268	2006
佐川公矯	輸血の危機管理	大量出血、外須美夫編、真興交易 (株) 医書出版部、東京		210- 223	2006